

# 「明日の山口大学ビジョン2030」における 研究の重点戦略と主要施策

山口大学大学研究推進機構長 上 西 研

令和4年度から谷澤学長となり、新しい執行部体制がスタートしました。現在、「知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する山口大学」を目指し、「明日の山口大学ビジョン2030」を策定しています。研究については〈さまざまな社会ニーズの変化に対応し、多様性を重んじ、イノベーションをもたらす知の創造に取り組むため、総合大学の強みを生かして学際的な知を集め、産学公の連携により、若者定着、地域活性化につながる産業拠点の形成に寄与できる地域イノベーションエコシステムの構築と世界をリードする研究領域の創造を目指します。〉を研究ビジョンとして掲げ、ビジョン達成のために、5つの重点戦略と13の主要施策を提案しています。これからパブリックコメント等を経て完成させることになりますが、現時点での基本的な考え方を示させていただきます。

## 重点戦略① 地域イノベーションエコシステムの構築

やまぐち型地域共創システムを構築して地域課題フル型のオープンイノベーションを産学公連携により強力に推進します。

### 【主要施策】

#### 1. 地域の課題解決に向けた「やまぐち型地域共創システム」の構築

地域課題と大学保有のシーズを基に、産学公で共有した地域ビジョンの観点から研究開発プロジェクトを創出し、適合性評価を経て、地域を実証フィールドにした研究開発を行い、その成果を事業化につなげる「やまぐち型地域共創システム」を構築します。

#### 2. トップダウン型産学公連携研究拠点の整備

学長のリーダーシップにより、「やまぐち型地域共創システム」から生まれた研究開発プロジェクトの中から、継続的に顕著な社会的インパクトの創出が期待できるプロジェクトを「トップダウン型産学公連携研究拠点」として認定し、人材・知・資金が循環する地域イノベーションエコシステムの中核拠点として整備します。

#### 3. 地域企業・自治体等との包括連携の強化・拡大と大学発ベンチャーの創出機能の強化

地域企業・自治体等との包括連携の強化・拡大を行うとともに、エコシステムのプレイヤーとなる大学発ベンチャーを次々に生み出すための機能を強化することにより地域イノベーションエコシステムの基盤を強固にします。

## 重点戦略② 世界をリードする研究領域の創造

個性的かつ競争力のある研究への重点投資と支援を行います。

### 【主要施策】

#### 4. 大学附属研究所の充実と新設

本学の特色である「時間学」を対象とした時間学研究所における文理融合の研究活動を発展・進化させるため、多岐に渡る学内外の研究者の新規参画を進め、研究組織を充実させます。また、トップダウン型産学公連携研究拠点等のオンライン研究に重点投資を行い、世界をリードする大学附属研究所の設置につなげます。

#### 5. 研究拠点の組織改革

研究分野の選択と集中による研究拠点の大膽な組織改革を行い、世界レベルの研究競争力・产学連携力を有するグローバルネットワーク研究拠点を創出します。

#### 6. 多様な情報の活用によるAIホスピタルの構築とVRを用いた研究の推進

AIシステム医学・医療研究教育センターを充実させ、附属病院の電子カルテ、各診療部門システムから得られる多様な臨床データを最大限に活用して、医用AI技術を研究開発し、それらを既存の医療情報システムと連携させることで高精度・高信頼の医療を推進します（AIホスピタル）。また、仮想現実（VR）・拡張現実（AR）等の技術を利用した実習コンテンツや臓器などの3D医用画像の共有VR空間などを開発し、医学教育と診療技術の充実を目指します。

#### 7. 世界に発信する先進医療の開発と実践を推進

信頼性確保に配慮した質の高い臨床研究を実施するとともに、大学病院の特色・強みであるトランスレーショナルリサーチを積極的に行い、世界に発信する先進医療の開発と実践を推進します。また、先進医療機器の導入や優れた研究成果を積極的に取り入れた先進医療、高度医療を推進します。

## 重点戦略③ 値値創造の源泉となる学際的基礎研究の推進

国際共同研究と異分野融合研究に対する支援を強化し、基礎研究の卓越性と多様性を高めます。

### 【主要施策】

#### 8. 学際的基礎研究グループの支援強化

基礎・学術研究の卓越性と多様性を強化するために研究推進体の「学際的基礎研究グループ」について、評価方法や支援内容の見直し・改善を行います。

#### 9. 国際連携大学との共同研究の支援強化

研究分野を主体とした国際連携活動を強化するとともに、多様な教育支援及び国際貢献をおこなうことを目的として選定されている重点連携大学について、選定基準と支援内容等の見直しを行うことにより、国際共同研究の支援を強化します。

## 重点戦略④ 優れた研究成果を多く生み出すための研究基盤の整備・充実

全学共同利用施設の再編と研究DXの推進による研究機器

共用システムの高度化を実現します。

【主要施策】

10. 総合科学実験センター施設の合理化によるサービス向上

社会の変化と技術の高度化に対応して、総合科学実験センターにおける施設の管理システムの改善、センター全体の合理化を推進することで、研究者支援のための施設、研究設備・機器、技術およびサービスを向上します。

11. 研究設備・機器共用化システムの高度化

研究DXの推進により全ての研究情報をつなげ、共用機器のコストと成果の見える化、利用料金の共通ルール化などを行います。同時に、新規導入・更新等の際の選定基準となる「共用化指標」等により研究設備・機器への投資効果の見える化を推進することで、研究設備・機器共用化システムの高度化を実現します。

12. 機器共用促進や技術職員の高度化による研究者支援体制の充実

リサーチファシリティマネジメントセンターと総合技術部が連携して、研究設備・機器の共用の促進や、技術職員の高度専門技術修得の支援を強化することで、研究者への支援体制を充実します。

**重点戦略⑤ 持続可能な社会への貢献**

山口大学の総合知を結集し、地球温暖化に伴う諸課題の解決とグリーン社会の実現に貢献します。

【主要施策】

13. 山口大学グリーン社会推進研究会への積極的支援

山口大学グリーン社会推進研究会へ積極的に研究資金等の支援を行うことにより、研究会から革新的な脱炭素技術やグリーン社会システムなどを創出し、グリーン社会実現に貢献します。